

物価高騰に苦しむ 事業者向け支援策

市は、9月議会で燃料や物価の高騰に苦しむ事業者向けの支援策を予算化しました。

商工業者向け

1 エネルギー価格高騰緊急対策

2か月間分のガソリン・重軽灯油・ガス・電気代などの合計が25万円を超える事業者(医療など各種法人含む)に費用の20%以内を支援

申請は
10/21
から

2 省エネ機器導入

LED照明機器、空調機器、冷蔵・冷凍庫の導入に補助

申請は
10/3
から

農林漁業者向け

3 エネルギー価格高騰緊急対策

2021年の動力光熱費が100万円以上で費用の5%以内を支援

申請は
10/21
から

4 肥料価格高騰対策

2021年の肥料費が3万円以上で費用の20～10%支援

申請は
10/21
から

5 燃油価格高騰対策

ハウス栽培農業者に10aあたり15円/ℓを支援

申請は
10/21
から

福祉事業者向け

6 高齢者・障害者・児童福祉施設に、年間の光熱費や食材などの高騰分を支援

申請
不要

他にも支援制度があります。詳しくは「市民のひろばおかやま」10月号6～7ページが市HPをご覧ください。

編集後記 Editorial note

母親とその交際相手から虐待を受けた女兒が2022年1月に6歳で亡くなった事件について、審議会の検証報告書が公開されました。結論は、こども相談所など虐待事案に関わる人の拡充と質の改善です。人と予算をしっかりと増やすことが重要です。岡山市議会は2019年に議員発議で児童虐待防止条例を作りました。今一度、条例に込めた思いと報告書の中身をつなぎ、もう二度と悲しい事件を起こさせないようにと決意を新たにしています。

日程 Schedule

11月定例会

11/25(金)	議会運営委員会
28(月)	常任委員会
30(水)	開会
12/5(月)	請願・陳情締め切り
6(火)～12(月)	個人質問
13(火)	常任委員会
15(木)	議会運営委員会
16(金)	閉会

議案に対する各会派の態度 For or against

賛否の分かれた主な議案・陳情	結果	共産	自民 新政	公明	自民 政隆	自民 市議団	創政	無所属 クラブ	一人会派		
									下市	森山	寺林
マイナンバー利用拡大、瀬戸内斎場整備の補正予算	○	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○
財田民営化こども園整備に関連する条例2件	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める陳情	×	○	×	×	×	×	○	△	○	○	×

○…賛成・採択 ×…反対・不採択 —…欠席
△…会派内で賛否分かれる

党市議団は41議案のうち補正予算のマイナンバーの利用拡大と瀬戸内市斎場の経費増、民営化こども園整備のために財田スポーツ広場を廃止する2条例の計3議案に反対しました。日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める陳情は、日本共産党のほか、おかやま創政会、無所属クラブのうち2議員、1人会派の2議員の計14名が賛成しましたが、不採択でした。

新型コロナ

第8波に備えよ

新型コロナウイルス感染症の第7波は、岡山市でも新規感染者が1日最大1500人を超え、猛威を振るいました。高齢者施設や医療機関でのクラスターが激増し、死亡者数も増えました。市はオミクロン株の特性のためとしますが、行動制限がない中、行政検査の範囲を大きく後退させたことも大きな要因です。

ことが想定されます。市は、対応できる外来を増やし、相談窓口を設置するとしています。検査キットの無料配布や無料PCR検査などの拡充には否定的です。党市議団は、抜本的な保健所体制の充実、無料検査の実施、相談体制の拡充など、第8波に備えるよう求めています。



	第6波ごろ (1/1～2/28)	第7波ごろ (7/1～8/31)
新規感染者数	16,717人 (872人・2/5★)	54,438人 (1,807人・8/18★)
死亡者数	29人	42人
中等症・重症者数	30人	138人
自宅療養者数★	3,351人・2/12	10,247人・8/25

★は期間中で最大の日の人数と月日

学校給食

民間委託は リスクだらけ

市教委は、8月の学校給食運営検討委員会で、給食調理の民間委託率の目標を、現行の60%(すでに超過達成)から70%に引き上げる方向に、議論を誘導しました。市教委は、直接雇用の調理職員の確保が困難になることを理由にしましたが、非正規での処遇や低い賃金のままで人が集まるわけがありません。2017年に操南中学校の給食調理を受託しようとした

民間業者が撤退したため、しばらく給食が作れない事態が起りました。リスクのある民間委託の拡大はストップする必要があります。

よりよい給食のために市が技術や経験をちゃんと持たなくちゃ

コスト削減最優先でいいの?



瀬戸内市一本松に建設中の瀬戸内市斎場(仮称)は岡山市分と瀬戸内市分各2炉の計4炉で、岡山市が建設費の半分10.5億円を負担する協定です。現在、東山斎場14炉と北斎場12炉が稼働しています。火葬ピークの年想定件数約1万件のうち、東山斎場は昨年実績で既に6千件、北斎場は4千件以上対応できるため、2斎場体制で十分に足りる。

瀬戸内市斎場 岡山市分は不要

があった2013年に、火葬ピーク時の岡山市の必要炉数を24炉から28炉に増した事が分かっています。変更理由の説明はなく、十分な比較検討や議論も無いままに、大森岡山市長と瀬戸内市長で協定が交わされ予算化された事業です。瀬戸内市斎場は岡山市分としては不要で、事業参加すべきではありませんでした。利用する方としても利用料に補助を出す方が安上がりです。



81

億円

地元財界から、北長瀬の市営住宅跡に屋内多目的施設(アリーナ)建設の要望が、市に出されています。これを受けて市は、アリーナ建設の必要性や規模、採算性などの基礎調査を行い、5000人規模で建設費81億円などの調査結果を議会に報告。市長は建設に前向きで、費用は県や財界にも協力を求める考えを9月議

シリーズ
ムダづかい許さない!!
Series vol.5.6

またハコモノ 今度はアリーナ

10.5

億円



会で答弁。市は来年度基本設計を予算化し、建設の可否を最終的に判断するとしています。結果的に市が相当額を出すことになるのではないかと、市の政策全体の中で福祉の充実などに優先すべきことがあるのではないかなど、多くの疑問があります。建設ありきではないし、現状では公費投入すべきではありません。



安倍元総理の国葬が多く国民の反対の声を無視して行われました。日本共産党岡山市議団は8月29日、無所属クラブの2議員とともに、岡山市に対して国葬に反対することや市民に弔意の強制をしないことなど申し入れ、議会質問でも求めました。市は、職員や市民に弔意を求めることはしませんでした。本庁舎など5施設で半旗をかがげました。教育委員会と学校は何の対応もしませんでした。

市長と議長は公費で参列しました。この参列を理由に、もともと国葬の日と同じ9月27日予定だった9月議会閉会日が、直前に1日前倒されました。

国葬反対 超党派で求める